

# 平成30年度 自己評価公表シート

認定こども園龍谷きくし保育園

## 1.本園の保育目標

認定こども園龍谷きくし保育園の保育目標は、「出逢い ふれあい 育ちあい 共に育む生きる力」です。様々なことに出逢える尊い経験は、子ども達の世界を大きく広げ、子どもたちの創造力を伸ばし、子ども自身の力で自らを発達させていくことでしょう。

## 2.本年度、重点的に取り組む目標・計画

平成30年度認定こども園龍谷きくし保育園、教育・保育課程における、教育・保育目標に基づいて自己点検・自己評価を実施することによって、保育者自らが第三者の立場で保育園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に取り組んでいくことを重点項目とする。

## 3.評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
保育・教育課程の編成・実施に関して職員間で共通理解を図る。	平成30年4月より適用された保育所保育指針を職員間で共有すると共に、保育課程見直し箇所を整理し教育・保育課程の編成を確認し共通理解を図っている。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手だてを講じる。	日誌・個別配慮等の個々の記録を整理し職員会議等で共通理解を促し、保育の充実を図っている。
教育・保育の質の向上のために、職員会議・園内研修を充実させる。	定例の職員会議に加え、必要に応じて話し合いの機会を設けたり、園内研修を行い保育の質の向上につなげるための保育の課題を考察する機会を設けるよう努めている。
保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情などに適切な対応を行う	保護者からの意見を真摯に受け止め、改善すべき点については対応をした。記録を通じて、職員間で共通理解を図った。
各研修会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	各種研修会に参加し、研修報告として資料にまとめ、職員会議などにおいて提供し、共有化を行っている。
発達過程や状況を踏まえ「指導計画」を作成し、計画・実践・省察・評価・改善のサイクルを確立する	日誌等を通して自らの保育を振り返り自己評価を行った。また、年に1度、各年齢ごとの評価項目に沿った自己評価を行っている。
園の財務状況を積極的に公開する	公認会計士により適正に処理されていると認められている。

#### 4.具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	新保育所保育指針の改定に伴い、保育者ひとり1人が子どもの健康や安全を確保しつつ、子どもの生活や発達過程を見通し保育計画を作成しなければならないと感じた。そのためにも、職員間の連携を図り、さらに充実した保育を実践していけるよう計画性を持って、会議や研修など、積極的に取り組んでいきたい。

#### 5.今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
研修について	保育の課題や各職員のキャリアパス等を見据え、積極的に職務内容等を踏まえた体系的な研修計画を作成するよう努める。
記録書類の作成	保育の記録に加え、保護者との面談記録など記録書類の整理と管理をしっかり行い、記録書類については速やかに記録作成し職員間での共通理解をとる。
保育計画について	教育・保育課程に基づいた指導計画の作成の為に、園を取りまく環境や子どもの実態に則した新たな指導計画・保育環境の整備に取り組んでいく。